

# 宮城県におけるストーマ ケアに関する災害対策

2022.10.10

在宅WOCセンター 熊谷英子

宮城県におけるストーマケアに関する災害対策委員会

# 災害対策の経過

- 2011.3.11 東日本大震災の発生
- 2014.1.25 宮城県におけるストーマケアに関する災害対策委員会  
設立  
宮城県におけるストーマケアに関する災害対策マニュアル(以下災害対策マニュアル)制定
- 2014.2.21 第31回JSSCRシンポジウムで報告
- 2014.10.11 宮城県におけるストーマケアに関する災害  
対策マニュアル(ストーマ保有者用)作成
- 2018.2.23 第35回JSSCR災害対策委員会企画で報告
- 2018.4.28 災害対策マニュアル一部改訂
- 2021.3.20 災害対策マニュアル一部改訂(令和元年版)  
災害対策マニュアルストーマ保有者用  
一部改訂(令和元年版)

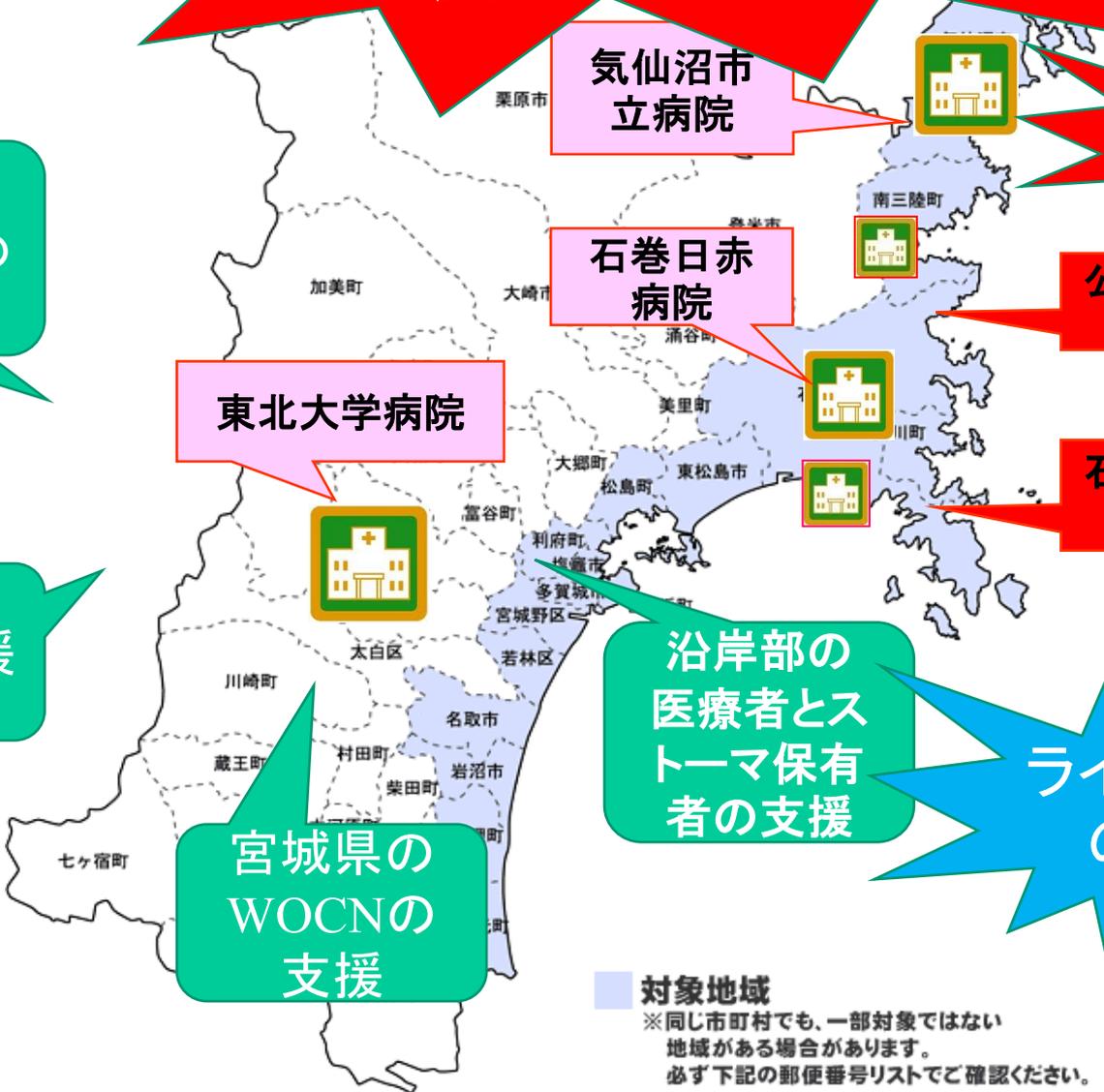
2011.3.11

# 大地震発生と大津波

被災したストーマ保有者の受け入れ

JOAの支援

宮城県のWOCNの支援



気仙沼市立病院

石巻日赤病院

東北大学病院

連絡とれず!!

公立志津川病院(全壊)

石巻市立病院(全壊)

沿岸部の医療者とストーマ保有者の支援

ライフラインの遮断

**対象地域**  
※同じ市町村でも、一部対象ではない地域がある場合があります。  
必ず下記の郵便番号リストでご確認ください。

# 東日本大震災発生時の活動上の問題点

1. ストーマ用品供給ルート of 錯綜  
ストーマ用品協会と各メーカーの活動が並行  
受け入れ窓口が不明瞭  
ライフライン遮断による供給の停滞
2. 行政との連携不足
  - ・ストーマ用品の搬送が停滞
  - ・避難所担当者との連携が不足
3. JSSCR、関連学会の役割分担による弊害
  - ・情報の錯綜、状況報告に時間を要した。

# 課題

1. ライフライン遮断を想定した被災地へのストーマ用品の供給方法の検討
2. JSSCR、JOA、ストーマ用品メーカー、行政、地域医療者との連携強化と役割分担の明確化
3. JSSCR、関連学会間の情報の共有化と簡便化



‘宮城県におけるストーマケアに関する災害対策  
フローの構築とマニュアルを作成’ 2014.10.11

# 宮城県におけるストーマケアに 関する災害対策マニュアル

2014.1.25 制定

2021.3.20 一部改訂(令和元年版)

# 宮城県におけるストーマケアに関する 災害対策基本方針

## 1. 目的

大規模地震、風水害などの災害発生時、特にライフライン遮断時におけるストーマ保有者の支援を目的とする。

## 2. ライフラインの定義

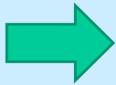
災害発生によりライフラインが遮断された時期からおおよそ1か月とする。

## 3. 支援の特徴

- 1) 災害により、ストーマ用品が流出、消失するなどのストーマ管理に困難をきたしたストーマ保有者を対象
- 2) 災害対策マニュアルにそって、ただちに支援を開始  
ライフライン遮断時では、情報伝達が困難

# 災害時のスチーム保有者の支援体制

## 1. 関連団体等による支援

JSSCR、東北SR研究会・講習会、宮城県、JOA宮城県支部、スチーム用品メーカー、宮城県医療機器販売協会、宮城県内医療施設、宮城県のWOCN、宮城県看護協会等との連携  迅速 かつ細やかな支援

## 2. 支援体制の基本構造

### 1) 宮城県におけるスチームに関する災害対策委員会の設置

上記団体の代表者で構成 委員13名

委員長 1名、副委員長 1名をおく

\* 災害対策時の決定機関

# 災害時のストーマ保有者の支援体制

## 2) 宮城県におけるストーマケアに関する災害対策WG

宮城県内の各医療圏のWOCN 27名

東北SR講習会・研究会を母体とするWG

**\* 実際にストーマ保有者の支援を行う。**

## 3) 宮城県の医療圏に応じた支援体制

**2か所の拠点病院・19か所基幹病院が中心となって支援を行う。**

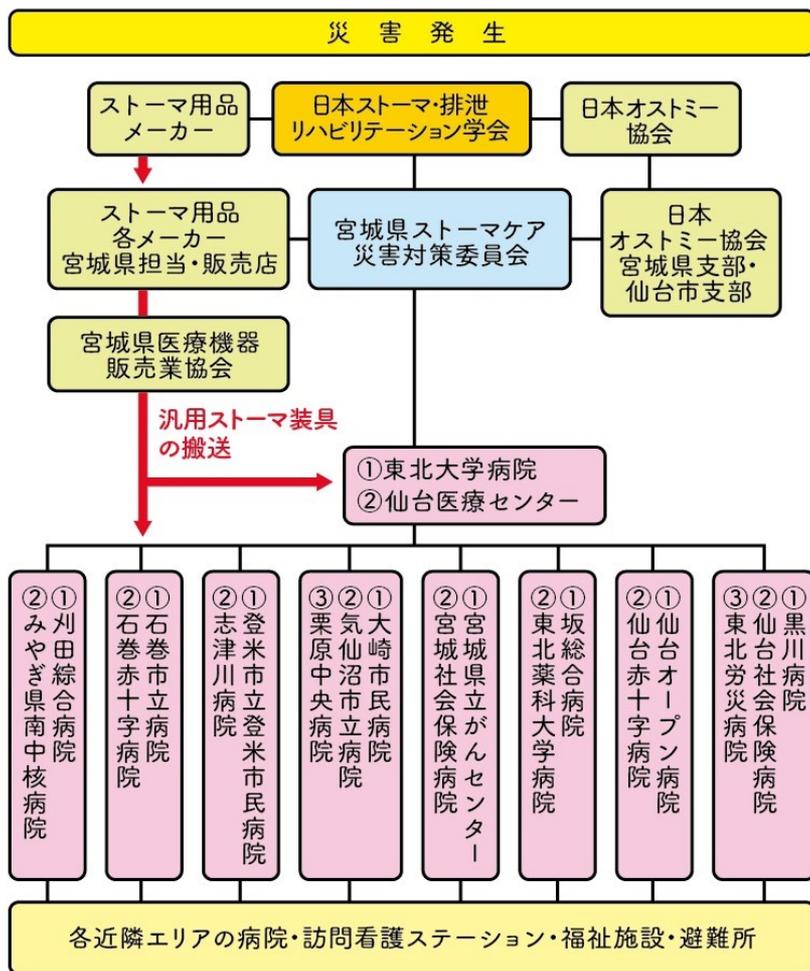
各病院は、近隣エリアにある病院、施設、訪問看護ステーション、避難所のストーマ保有者の支援を行う。

## 4) 各医療圏における補完体制

**大規模災害による病院の機能停止を想定。近隣の2～3の基幹病院を1つのグループとし相互に補完する。**

# 宮城県におけるストーマケアの災害対策

一次支援の全体図

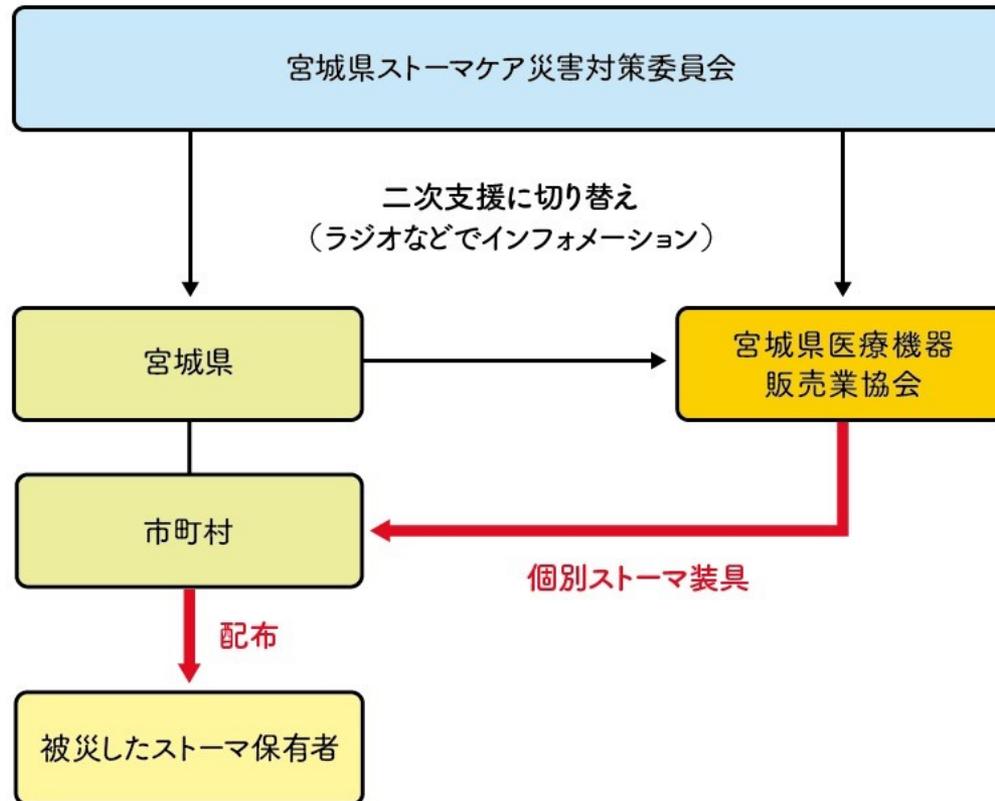


・情報ルート

・物流ルート

# 宮城県におけるストーマケアの災害対策

二次支援の全体図



# 支援の実際

## 1. ストーマ用品の供給

1) ストーマ用品セーフティーネット連絡会による供給

緊急支援物資、震災発生後1ヶ月無料提供

2) 宮城県と医療機器販売業協会の協定による供給

## 2. 災害用汎用装具の供給

ストーマ用品メーカー7社

32タイプの汎用装具を選択

①消化管用単品系平面

②消化管用単品系凸面

③尿路用単品系平面

④尿路用単品系凸面

5枚1組として、配布。

今後、JSSCRの支援にあわせ再検討

# 支援の実際

## 3. スキンケアセットの供給

清浄綿、粘着剥離剤、清拭用クリーム（水不要）  
汚物用ビニールなど

## 4. 汎用装具の見直し

1年に1回

## 5. 汎用装具・スキンケアセットの使用方法を平常時よりWOCNがストーマ保有者に指導

# ストーマ用品の備蓄

## 1. ストーマ保有者

- 1) 平常時より1ヶ月の備蓄
- 2) 親戚・友人宅に分散して預けておく。
- 3) 医療機器販売協会倉庫に備蓄

対象: 仙台市のJOA会員

## 2. 医療機関

汎用装具・スキンケアセットの備蓄

# 広報活動

1. 災害発生時、宮城県による情報提供  
避難所での情報提供  
担当窓口の明確化  
ラジオ、テレビテロップ、新聞による情報提供
2. 平常時、災害対策用ポスターの配布
3. 平常時、ストーマ保有者用災害対策マニュアルの周知
4. 平常時、オストミー協会誌等による呼びかけ

# 医療者によるストーマ保有者への指導

## 1. 平常時の指導

- 1) 災害時の備え：非常持ち出し袋の準備
- 2) 汎用装具の必要性の説明とケア指導
- 3) 災害時の担当病院・連絡先・相談窓口
- 4) ストーマ装具供給場所
- 5) ストーマ用品セーフティーネット連絡会からの無料提供について

## 2. 災害時

- 1) 拠点病院・基幹病院でのストーマケア指導
- 2) 避難所でのストーマケア指導

# ストーマ保有者のための災害対策マニュアル

宮城県のホームページよりダウンロード可能。



イメージキャラクター  
トーマス君





# 東日本大震災 仙台市復興五年記録誌 掲載

## 第3部 災害に強いまちづくり

### ・第11章 地域防災 第9節災害時要援護者対策

#### 5. 障害者への支援

#### (4) その他の対策 P452

東日本大震災  
仙台市復興五年記録誌

平成29年3月  
仙台市

第  
11  
章

地  
域  
防  
災

#### (4) その他の対策

##### ① ストーマ保有者の災害対策

ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理においては、ストーマ装具が必要不可欠である。災害時には、排せつ物による汚染のため衛生状態を保つことが困難となり、ノロウイルスなどの集団感染を引き起こす原因となる場合もある。震災時、ストーマ保有者の多くは、津波等による装具の喪失や備蓄の不足によりその管理に難渋した。また、停電、通信途絶などのライフラインの遮断により装具の供給が遅れ、さらなる混乱を招いた。

この経験を生かして、県と関連の病院、

皮膚・排せつケア認定看護師、業者などで構成される宮城県ストーマケア災害対策委員会を立ち上げ、ストーマ保有者向けの災害時対応マニュアルを作成した。

このマニュアルでは、特にライフライン遮断時（災害発生よりおおよそ1カ月）においての支援を定めている。災害発生から段階ごとに装具の供給体制を規定し、発災から5日目頃までの第1次支援では、2,000種類以上ある装具の中から汎用性の高い「汎用ストーマ装具」が、メーカー等から宮城県医療機器販売業協会を通じて県内の拠点・基幹病院に配送され、そこで保有者に供給する。また、ライフライン復旧後の第2次支援では、同協会が、保有者が通常使用している装具を市町村の指定場所に配送することとしている。緊急を要する時期には汎用性の高いものを、一定の時間が経過した段階で、個人の仕様に合致するものをそれぞれ供給することにしたものである。

また、本市でもこのマニュアルを、区役所窓口等で配布し、平時の備えや災害時のストーマ用品の入手方法について周知している。

全頁は下記仙台市のサイト内でご確認頂けます。

<http://www.city.sendai.jp/shinsaifukko/shise/daishinsai/fukko/5nenkiroku.html>

# 災害対策構築の成果

## ・2015.4 蔵王噴火勧告

勧告地域のストーマ保有者33名

関連市町村・基幹病院WOCNの連携による支援

個別訪問による細やかな対応

支援物資の準備

## ・2015.9台風18号豪雨による被害

浸水した病院の支援: 支援物資供給

各自治体からのストーマ保有者の被災状況と対応報告

基幹病院WOCN、被災地域WOCNの支援

避難所のストーマ保有者2名

‘在庫も黄色い手帳(ストーマ保有者のために災害対策マニュアル)があるから大丈夫’との声聞かれる。

# 災害対策構築の成果

2019.10 台風19号豪雨

- ・丸森町(ライフラインの遮断、阿武隈川氾濫による町全体の浸水)、角田市、村田町、大河原町、村田町で冠水、大郷町で冠水  
人命救助中の所もあり
- ・市町村担当者、基幹病院WOCN、地域のWOCN、販売店によりストーマ保有者の安否と状況確認
- ・基幹病院WOCNにより、避難所、訪問看護ステーション・施設等の状況確認
- ・日本看護協会災害支援NSと連携 ストーマ保有者避難所→施設へ
- ・ストーマ装具が濡れて使用できないストーマ保有者多数  
ストーマ外来での支援  
販売店、メーカーによる支援(サンプル、1カ月の無料提供を利用)  
大河原町役場:半年分の装具を流出した保有者を町で支援
- ・JSSCRに緊急支援物資依頼するが、上記で支援可能のため、キャンセル  
\* 災害対策マニュアルにそったスムーズな活動ができた。

# 災害対策構築の成果

2021.2.13 福島・宮城県沖地震

- ・市町村・WOCNの連携による情報収集

被害確認なし

- ・断水の対応

塩竈地区

坂病院WOCNが対応

販売店、ストーマメーカー、スキンケア用品メーカー

等の協力を得る。

2022.3.16 福島県沖地震

- ・市町村・WOCNの連携による情報収集

被害確認なし



ストーマ保有者のための災害対策マニュアル作成、増刷  
のために資金調達  
→トーマス君Tシャツの作成と販売 1枚3000円

# 今後の課題

1. JSSCRの災害対策を念頭においた  
災害対策フローの見直し
2. 関連団体との連携強化  
災害対策の広報と浸透
3. 定期的な委員会の開催  
担当者変更等による災害対策の希薄化を  
予防する。